

TRENDY

創刊250号カウントダウン
特大号

JANUARY 2006

「デジタル」も「白物家電」も、この冬は激戦!

新製品160

完

薄型テレビ HI
プリンター
食器洗い乾燥機

行列回避マニ
冬の陣

ペットを守る最

カード、会員シス

「ポイント

日経トレンディ

2006年1月号掲載

Pay for "kids"

【犬ドック、猫ドック】 ペットが肥満・高齢化 飼い主の関心が高まる

荏谷動物病院三ツ目通り病院では、人間ドックのペット版の受診がここ2、3年で急増。要予約制で、受診からおおよそ1週間後には検査結果が出る。プランは約10種類で、費用は約1万5000円から。人間と同様、最近では肥満が増えている。犬の下痢、猫のぼうこう炎などストレスが原因の病気も多いという。

●犬ドック、猫ドックの検査項目

検査項目	犬	猫
身体検査	○	○
血液検査34項目	○	○
甲状腺ホルモン検査	—	○
尿検査	○	○
糞便検査	○	○
レントゲン検査	○	○
超音波検査	○	○
血圧検査	○	○
心電図検査	○	○
レポート送付	○	○
料金	約7万円	約8万円

注) 荏谷動物病院の例。料金はコンプリートコース(年2回分)

病気から守る



⑤検査機器は人間用を使用している。超音波検査は臓器の状態をモニタリングする。レントゲン検査も必須項目。ドックのみで、カウンセリング料込み。

【メンタルヘルス】

困惑するような問題行動 動物としては自然な場合も

ペットに心的ストレスが生じ、問題行動を起こしたり健康状態に異常が表れたりするケースがある。そんなときに頼りになるのがカウンセリングの専門医だ。この問題行動のなかには、ペットとしては自然な行為でも飼い主には「問題」と映るものも多い。治療に際しては、飼い主の協力が不可欠だ。

「こうした新製品・サービスは従来のペットケアに比べて、ペットの健康と飼い主の安心を重視する。ユーザーは、ペットを単なる愛玩の対象としてではなく、わが子、または生活のパートナーとしてみている人が多い。この市場規模は、ペットに対する飼い主責任をまっとうしようとする飼い主の「成熟度」を示すバロメーターの一つかもしれない。」



【自動給餌ロボット】 外出先からでもペットと“対面” 適量の餌を与えて肥満を防ぐ

ウェブカメラ搭載の給餌機「iSeePet」。餌の量は8段階に設定できる。「一度餌をセットすれば4～5日はもつ」(AOSテクノロジー)ので、短期の旅行中でも餌の心配はない。餌は1cm未満の粒状ドライフードを推奨。ケータイでのペット画像の閲覧は全キャリア対応。本体の高さは35cm。小型～中型犬に向く。

安心して暮らす



【犬の飼い主限定マンション】 ペットのために壁、床材を選定 サロン、動物病院までも備える

東京都三鷹市にできた犬の飼い主限定のマンション。全室の天井と壁にはペットを傷から守る光触媒を使用。フローリングは使わず、犬が歩きやすい床材に。ドッグサロンでは入居者対象の優待サービスもあり、しつけ教室の開催も検討。山文ではこのマンションを皮切りに今後、同様のマンションをプロデュースしていく方針だ。

突然吠え出す、決めた場所以外でおしっこをするなど、飼い主を困らせることももある。こうした行為は、ペット自身に問題があつての行動と捉えられ、だが、相川動物医療センター(東京都新宿区)の行動医療科の担当医・高倉新吾氏は「ペットにとっては正常な行為であっても、生活環境や飼い主の考え方によって、問題行動と見なされてしまふケースもある」と指摘する。